

門田隆夫氏文書(1)(2) 概要

- 1: 文書群番号 075012
- 2: 文書群名 門田隆夫氏文書(1)(2)
- 3: 出所 門田隆夫家
- 4: 家業・役職等 椎堂村庄屋(幕府領・大坂城代領・忍藩阿部氏領)、川辺郡惣代庄屋・郡中惣代、下屎方組合村々惣代、椎堂村戸長ほか
- 5: 地名 摂津国川辺郡椎堂村／兵庫県川辺郡椎堂村／川辺郡園田村椎堂／尼崎市椎堂／尼崎市椎堂1丁目ほか
- 6: 行政区分 ①幕府領・大坂城代領／幕府領／武蔵国忍藩阿部氏(忠吉系)領／幕府領／兵庫県第12区／下食満組戸長役場／園田村／尼崎市
②旗本大島氏(光義系)知行所／幕府領／武蔵国忍藩阿部氏(忠吉系)領／幕府領／(近代以降は①に同じ)
- 7: 歴史 椎堂村は市域北東部、猪名川と藻川の間に位置する。史料上の初見は文禄3年(1594)の『椎堂村検地帳』(門田隆夫氏文書、『尼崎市史』第5巻)。
近世初期には村の大部が幕府領または大坂城代領、極小部は旗本大島氏(光義系)の知行所、寛永14年(1637)幕府領。元禄5年(1692)全村幕府領となり、同7年武蔵国忍藩阿部氏(忠吉系)領、文政6年(1823)幕府領となった。
村高は文禄3年・慶長10年(1605)に359石余、元禄15年に373石余、天保5年(1834)に378石弱とある。また寛延4年(1751)に百姓本人37人・水呑百姓5人、ほかに6人、安政5年(1858)に家数41軒、人数207人とある。水利は三ツ又井組に属した。氏神は十九(とく)神社(近世には十九社明神)、寺院は浄土真宗本願寺派吉祥寺。
明治22年(1889)以降は園田村の大字となった。
- 8: 伝来 市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和51年に門田隆夫氏が史料館へ寄託。平成23年3月再整理終了。
- 9: 史料入手先 門田隆夫氏(原蔵者)
- 10: 点数 1777点(目録件数1627件)
- 11: 年代 嘉元2年(1304)～大正12年(1923)
- 12: 構造と内容 本文書群は、主として近世は椎堂村の村政文書、近代は園田村役場文書からなる。
村の願書留め帳、触留帳、布達綴等支配に関するもの、人別送り等戸籍に関する文書などがある。また検地帳・免状・皆済目録等土地関連史料がまとまっていて、文禄3年(1594)、延宝7年(1679)の検地帳が含まれる。
さらに椎堂村が属していた三ツ又井の関連史料、猪名川通船等交通関係史料、下屎関係史料がある。
椎堂村にある吉祥寺(浄土真宗)との関連から、本願寺関係の入用帳等もまとまっている。その他借用証文・頼母子講等金融関係文書がある。
- 13: 関連史料 椎堂部落有文書、橋本正隆氏文書ほか
- 14: 閲覧条件 マイクロフィルム・同プリント、原本

※本目録は『尼崎市史編集目録集8、27』掲載の「門田隆夫氏文書目録」に新たに差出(編著)・宛先・形態・点数・和暦(年月日)・西暦等の情報を追加しました。

※本目録を作成するにあたり、本文書群の再整理を行いました(作業期間:平成22年1月～23年3月)。再整理(文書整理カード採録)は、史料館のボランティアの方々にご協力いただきました。

※本目録は『尼崎市史編集目録集8、27』掲載の「門田隆夫氏文書目録」に新たに差出(編著)・宛先・形態・点数・和暦(年月日)・西暦等の情報を追加しました。
※本目録を作成するにあたり、本文書群の再整理を行いました(作業期間:平成22年1月～23年3月)。再整理(文書整理カード採録)は、史料館のボランティアの方々にご協力いただきました。